

令和4年度事業計画

令和4年4月1日から令和5年3月31日まで

1 概況

新型コロナウイルス感染症の拡大から2年が経過し、事業者にとっては昨年以上に大きな打撃を与えることとなった。依然として収束の見通しが立たない中、事業者は長期に亘り様々な制約を受けながら営業活動を継続している状況にある。

当協会においても、感染症の収束を見込んだ中での当初の事業計画は大幅に変更せざるを得ない状況となり、様々な制約がある中、試行錯誤を繰り返したが、昨年度同様厳しい結果となった。

令和4年度も、感染拡大の早期収束は期待できず、飛躍的な景気の回復は望めないことから、宮城県をはじめとした関係機関と連携を図りながら、コロナ禍の中でも対応可能な事業に取り組むこととし、既存の事業の見直しも含めて販売促進と財務基盤の立て直しに取り組んでいく。

具体的には、宮城ふるさとプラザで3割増し商品券の販売を行うことで新規顧客の開拓を図りながら、外販用ECサイトを活用して来店以外の顧客づくりにも努める他、当協会の今後の事業の柱となる新しいECサイトの早期開設に向けて準備を進めていくものである。

また、会員に向けた有益な情報の発信に力を入れる他、当協会の持つネットワークを活用して会員が希望する相手先（販売先や他の会員）を繋ぐ役割を構築していく等、現在の状況下において当協会の存在の意義を意識した事業展開を図っていくものである。

1 公益目的事業

(1) 県産品情報発信・販路開拓事業

① 首都圏アンテナショップ「宮城ふるさとプラザ」の運営

東京池袋において、国内外に向けた宮城県産品や観光・イベント情報の受発信を行い、販路開拓とともに地場産業の育成及び活性化を図る。

- (イ) アンテナショップ機能（物産・観光）の整備
- (ロ) 首都圏消費者ニーズ等の把握と情報のフィードバック
- (ハ) 店舗内外における県産品の販売拡大の強化
 - ・3割増し商品券の販売（宮城県委託事業）
 - ・WEB販売による販売拡大

特定の顧客を対象とした外販用ECサイトを活用し、宮城県の支援企業やアンテナショップのカード会員等を対象に販売を促進。

- (ニ) 県内市町村、団体、生産者等の販売支援
- (ホ) 運営委員会、販売品目選定委員会の開催

② 県産品販路拡大サポート事業

東京出張所に卸販売会社を中心とした県産品の取引拡大を目的とした専門の営業スタッフを配置。県内事業者の営業活動をサポートし、商社的な役割を担っていく。

③ 県産品の展示事業

宮城県庁舎・仙台合同庁舎内等に展示し、広く紹介宣伝の場として活用する。

④ 県産品愛用運動の展開

宮城県で実施する「県制150周年記念事業」に協力し、県産品の魅力を県民に再認識し

ていただくよう紹介宣伝を実施。

⑤ 伝統的工芸品の普及活動

伝統的工芸品を県外の方に知っていただくため、物産展を活用してPR活動や販売の機会を提供する。（宮城県委託事業）

⑥ マスメディアの活用による県産品情報発信

地元テレビ局等との連携により、県産品の魅力をより多くの消費者に訴求していく。

⑦ 会報誌の作成事業

会報誌「みやぎ SUN」を作成し、会員へ向け活動報告及び情報を提供する。

⑧ 観光運動型県産品販路拡大及びインバウンド対策

観光資源としての地場産品を観光事業と連携を図りながら広く国内外に訴求して誘客を図る。コロナ禍収束後に向けて、外国語案内付きの県産品動画を配信する等、外国人に向けたPR活動を継続的に実施していく。

(2) 生産者育成事業

① 優秀技能者に対する表彰事業

県産品の生産に従事する優秀な技能者を表彰し、技能水準の向上と勤務意欲の高揚並びに後継者の育成を図る。

また、国及び県の卓越技能者表彰等への推薦も積極的に行っていく。

② 県産品販売促進講演会の開催

商品開発、販売促進、人材育成、経営施策等に役立つ講演会等を開催し、県内生産者・販売者等のスキルアップを図る。

③ 産地等育成支援事業

県内地域地場産業振興協議会・地区物産協会等が行う商品開発、デザイン開発、人材育成、需要開拓等事業に対し補助金を交付するほか、産地との連携を図り事業をサポートする。

④ 会員間連携強化事業

各会員が持つ販路や技術、課題等の情報交換を行う機会を創出することで、新たな事業展開や商品開発等のサポートを行う。

⑤ 情報発信事業

県や関係機関から出される各種事業や助成金等の紹介や、催事等販売機会のご案内等、会員に有益な情報をメール配信により提供。

2 収益目的事業

(1) 物産展事業（収益事業1）

① 宮城県の物産と観光展実行委員会への参画

宮城県の物産と観光展

(イ) 横 浜 そごう横浜店

(ロ) 東 京 東武池袋店

(ハ) 広 島 そごう広島店

(ニ) 名古屋 名鉄百貨店

(ホ) 千 葉 そごう千葉店

② 県内外百貨店等における物産展の開催・参画

(イ) 事務局並びに各出張所における物産展（WEB物産展含む）等の開催・参画

(ロ) 小規模催事を活用した販路拡大

(ハ) 各種開催イベントへの参画

(2) 販売事業(収益事業2)

① ECの新しい取り組み

(イ) 新規ECサイトの開設準備

EC推進委員会(会長諮問機関)の答申をもとに、ECサイトの製作・運営に向け調査、研修、企画を実施する。

(ロ) 仙台放送と共同運営を行っている地産地消市場「仙台いろは」の商品企画等に参画し、他で売っていない商品を掘り起こすことで売上拡大を図る。

② 卸販売の強化

協会の持っている大手卸会社等の取引口座を活用して、会員事業者の取り引きの拡大を図る。

③ 法人向け営業の強化

法人の大口取引獲得に向け、相手に合わせた販売企画を提案するなど営業を強化。

(3) アンテナショップにおける飲食店事業(収益事業3)

宮城ふるさとプラザ内のイートインコーナーでの飲食物の提供並びに販売。

3 法人事業(事務局運営)

定時総会、理事会等の会議開催をはじめ、各委員会等が提案する事業の取りまとめ等事務局運営に関する事業を行う。

(1) 会員の加入促進

安定した組織運営を図るため、会員加入を働きかける。

(2) 会議の開催

総会、役員会等の開催。